

聾学校地域支援だより

「夏の交流会」が行われました

7月30日（木）に「夏の交流会（旧サマースクール）」を開催しました。今年度は、前半は親子参加レクリエーション、後半に講演会と集団遊びという2部構成で行いました。

1部 親子参加レクリエーション

1部は昨年も好評だった親子参加レクリエーションです。まずはさいころを振って出たお題に答える形で、互いに自己紹介をしました。それから、みんなでフルーツバスケットをしました。何度も鬼になってしまう人もいて、会場が明るい笑い声で盛り上がりました。その後、子どもたちはカードゲームを楽しみ、保護者はフリートークの時間を設けました。普段なかなかゆっくり話すことのない保護者同士で、さまざまな話題についてお話の尽きない様子でした。参加された皆様のおかげで、有意義な交流の機会となりました。



【参加者の感想】

- みんなといっしょにフルーツバスケットができて楽しかった。
- 3回も鬼になり、1番多く鬼になってしまったので、罰ゲームでジェスチャーゲームをすることに…！忘れられない思い出です。みんなで笑いあった瞬間があって、とても良かった。楽しかった。
- ほかの保護者の方と交流ができ、貴重な経験談を聞けて、とても良かった。（保護者）
- 参加してみて、悩んできたのは自分だけではないのだなと思いました。初めての参加でしたが、すごく勉強になりました。（保護者）

2部 講演会・集団遊び「つくってあそぼう」

＜講演会＞

聾学校の教育相談を利用していた松井惺大さんをお迎えし、講演いただきました。松井さんは地域の小学校・中学校・高等学校を卒業され、千葉大学に進学されました。現在は大学3年生として学業に励み、部活動やサークル活動にも生き生きと取り組まれています。講演では、経験のなかで自分がどのように変化してきたか、どんなことを大切にしているかについてお話しくださいました。質疑応答では、参加者から多くの



質問が寄せられ、松井さんが丁寧に応えてくださったことでお話がさらに深まり、充実した時間となりました。

松井 惺大さんのお話 「人との繋がり」と自己理解」

小中学校時代は比較のおとなしい子どもでした。いろいろなことに興味はあっても、一歩踏み出すことができずにいたのは、自分の障害に対する理解が曖昧だったからではないかと思います。

コロナ禍での高校時代には、それまで当たり前にあった人との交流の場が失われたことで、人との繋がり的重要性を実感しました。それをきっかけに、自分からコミュニティに参加し、新しいことにチャレンジする姿勢を持つようになりましたが、聴覚障害によるコミュニケーションの壁にもぶつかりました。けれども、それがあったからこそ、自分はどうすれば人とコミュニケーションが取りやすいかを考え、自分に合った方法を見つけて行動できるようになったと思います。

大学生活でも、さまざまな場や人と関わり、挑戦や経験を重ねることで、将来を具体的に考える機会が持っています。積極的に人とコミュニケーションを取るためには、自分の障害の特性を理解することが必要です。そして障害だけでなく、自分はいったいどんな人なのか、何がやりたいのか、ぜひ障害以外の側面も考えてみてください。自分をよく知ることで自分に合った進み方を見つけることができ、人との繋がりを楽しんでいけることを、わたしの経験からお話させていただきました。

【参加者の感想】

- ・自分も中学生なので、受験や将来について、自分を見直して、これからの人生をより良いものにしていけたらいいなと思った。
- ・自分と環境が違う人の話が聞けて貴重な体験だった。人それぞれに求める合理的配慮が違うのだと知り、驚いた。
- ・先輩の話が聞けて有意義だった。進学か就職か、まだわからないけれど、どちらに進んでも、自分のことを説明する際にとても参考になる話だった
- ・当事者の貴重なお話が聞けて良かった。不安が軽くなった。
- ・いろいろな状況や苦勞、それを超えるための知恵を知ることができて良かった。
- ・受験時の配慮申請の話が聞けて良かった。
- ・教習所の話が聞けて良かった。



<集団遊び「つくってあそぼう」>

小学生は輪投げを作って遊びました。聾学校の中高生もボランティアとして参加し、小学生たちをサポートしてくれました。お話をしたり遊んだりして関わり、みんなで楽しく過ごすことができました。





【参加者の感想】

- みんなが楽しめてよかった。
- ケガなく遊べてとても良かった。
- またみんなでいろいろ作りたい。楽しかったので、またやりたい。
- 輪投げの枠を作るのが楽しかった。作って遊べて楽しかった。
- ボランティアのお兄さんお姉さんにいろいろ教えてもらえてよかった。
- 自分が中学生、高校生になったら、お兄さんお姉さんみたいになりたい。
- 小学生の親として、いろいろな年齢の子と触れ合う機会がもてて、とても嬉しかった。（保護者）
- 子どもたちはお兄さんお姉さんと遊べてすごく楽しかったみたいで、良かったと思った。なかなか聾学校の生徒さんと接する機会はないので、とても良い経験になったと思う。（保護者）

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



【行事のお知らせ】

令和8年度 群馬県立聾学校 体育祭

日時：令和8年10月24日(土)9:30～12:30

***雨天の場合は10月27日(火)9:30～12:30**

場所：群馬県立聾学校 校庭



聾学校の行事の様子をご参観いただくことができます。参観を希望される方は、上記 QR コードよりお申込みください。当日のプログラムは後日配布します。